

委員会事業報告

【総務広報委員会】

担当副理事長 本木 光

委員長 齋藤 竜也

副委員長 鹿野 美樹

幹事 奥山 真

メンバー 渋谷 泰彦

メンバー 青柳 紀子

担当副理事長所感

今年度は、委員長の指示の基、しっかりと委員会がまとまっていたように感じました。また、委員会メンバーにおいても委員長の指示されたものに従うだけでなく、自発的に物事を考え、委員長へ相談した上で行動していました。

何かと自分の力不足ありましたが、委員長を始め、委員会メンバーが少ないなりに一致団結してくれたおかげで総務広報委員会は1年を全うすることができたと思います。最後になりますが、私が不在のときも委員長、委員会メンバーを支えてくださったメンバーの方々、本当にありがとうございました。

委員長所感

今年度は、参加率の向上を心掛け1年間邁進してまいりました。その中で、まずは委員会からということで、委員会を定期的開催しメンバー間の交流を図り出席率の向上に繋がりましたが、そのまま例会の出席率には繋がらず、自分の未熟さを痛感しました。とはいうものの、委員会としての担いは、メンバー力を合わせて活動できたと感じます。また、広報の点に関しても、例年の手法を取り入れながら今年度の特色を交えて、市民の皆様へのPRが出来たと思います。結びに、今年1年間で経験させていただいた事を次年度へ引継ぐとともに、これからのJC運動の糧としこれからも邁進してまいります。ご協力いただいたメンバーの皆様、1年間、ありがとうございました。

事業報告

事業名	実施日時	項目	決算額
1月通常総会	1月19日(火) 18時30分	1月通常総会	¥115,624
新春賀詞交歓会	1月19日(火) 19時00分	新春賀詞交歓会(1月例会)	¥416,547
対外広報紙の発行	2月15日(月)	対外広報紙の発行(東根青年 会議所新聞第54号)	¥153,321
第49回山形ブ ロック上山大会	7月30日(土) 8時20分	第49回山形ブロック上山 大会(7月第2例会)	¥28,088
臨時総会	9月14日(水) 18時30分	臨時総会	¥120,656
卒業生を送る会	12月13日(火) 19時00分	卒業生を送る会(12月例 会)	¥190,190
情報の発信・共有 に関する企画及び 運営管理	随時	情報の発信・共有に関する企 画及び運営管理	¥2,570

【まちづくり委員会】

担当副理事長 長澤 正樹

委員長 牧野 仁 副委員長 矢萩 竜也

幹事 榎 健太郎 メンバー 木村 博 メンバー 鈴木 務

メンバー 佐々木 亮太 メンバー 後藤 進也 メンバー 高橋 範一

担当副理事長所感

本年度のまちづくり委員会は40周年記念事業並びに公益性のある公開事業の重責を仰せつかり、ほぼ丸一年事業に邁進して参りました。委員会の結束も固く各メンバーも能力も十分に発揮し大成功を収めることが出来ました。担当副理事長としては委員会の熱量に押され、方向を修正することが出来ない面もありましたが、熱と勢いのある事業を展開する楽しさこそ今会議所にとって大切であると考え委員会と共に走り抜けて参りました。卒業年度にこの素晴らしい委員会を担当させていただき本当に感謝しております。1年間ありがとうございました。

また、卒業まで様々な学びを与えてくれた東根青年会議所に感謝し本年度の所感とさせていただきます。

委員長所感

本年は40周年を迎えることもあり、40周年記念公開事業と公益性のある公開事業の二つの公開例会を担当いたしました。

どちらの事業も1から事業を計画し、事業実施に至るまでは困難が続きましたが、委員会メンバーからの積極的な協力のもと事業を終了し達成感を得られることができました。入会間もないメンバーが多い中で、このように委員会が一致団結し事業の実施に向けて協力できたことは、大きな成果であったと感じています。

当会議所の運動が広く市民に認知されるには、公開事業は必要不可欠であると考えております。より市民が参加しやすく、より市民が楽しめる事業を今後もまちづくりを行う他の団体と協力しながら展開していく必要があるものと考えております。

最後に、この一年は多くの方から支えていただいた一年間であったと感じております。みなさまからのご協力があったからこそ、二つの公開事業が実施できたものと深く感謝しております。一年間ありがとうございました。

事業報告

事業名	実施日時	項目	決算額
未来へつなぐ「絆」作成プロジェクト	8月20日(土) 10時00分	未来へつなぐ「絆」作成プロジェクト(8月例会)	¥157,315
湯ったり出会う東根温泉	12月4日(日) 16時00分	湯ったり出会う東根温泉(11月例会)	¥855,729

【青少年育成委員会】

担当副理事長 本木 光

委員長 大山 和宏

幹事 片桐 伸治

メンバー 奥山 文彦

副委員長 増川 賢一

メンバー 佐々木 洋子 メンバー 鈴木 康徳

メンバー 横山 直紀

担当副理事長所感

今年度は私の力不足もあり、委員長を始め、多くのメンバーへご負担をおかけすることになってしまいました。大変申し訳ありませんでした。

わんぱく相撲においては初理事の委員長ではありましたが、本当に多くの方よりご協力いただいたことによって開催することができたと思います。本当にありがとうございました。

委員長所感

5月例会のわんぱく相撲東根大会においては、委員会メンバーも積極的に参加し、他の委員会のメンバーや理事の方々も手助けをしてくださり、事業を成功に収めることが出来ました。その後の合同練習会と全国大会においては、参加者数は少なかったですが、メンバーが積極的に動き、手伝ってくださいましたので、事業もスムーズに進行し、成功することが出来たと思います。

事業報告

事業名	実施日時	項目	決算額
第30回わんぱく相撲東根大会 東根場所	5月14日(土) 11時30分	第30回わんぱく相撲東根大会東根場所(5月例会)	¥325,692
第32回わんぱく相撲全国大会	7月30日(土)～ 31日(日) 9時00分	第32回わんぱく相撲全国大会(7月委員会事業)	¥81,062

【会員拡大委員会】

担当議長	天野 修	副議長	鈴木 亮吉
拡大理事	三浦 斉	副委員長	井上 義悦
メンバー	天野 幸子	メンバー	荒井 幸俊
メンバー	植村 怜	メンバー	横尾 智広

担当副理事長所感

今年度、会員拡大の会議体の任を頂き、改めて会員拡大の重要性和難しさを痛感した一年でした。目標人数の14名にはとどきませんでした。拡大理事を中心にメンバーの頑張りにより6名の新入会員を迎え入れることが出来ました。会議体もJC歴の浅いメンバーが多い状態でしたが、素晴らしい頑張りであったと感じました。ただこの6名という人数は例年からすれば多いほうだとは思いますが、3・4年後のメンバー数の現状を見ると、東根青年会議所の運動を強く発信していくためにはやはり継続的な拡大が必要であります。次年度以降にもこの拡大の必要性を強く伝えてまいります。一年間ありがとうございました。

委員長所感

今年度は、会員拡大運動の推進、会員資質の向上の推進、会員交流の推進と3つの事業方針を基に運動を展開して参りました。会員拡大人数を14名と目標を掲げましたが、残念ながら目標人数には及びませんでした。ただ、毎月の会議の設営もあり6名の新入会員を迎え入れることが出来たのは、メンバーの皆様が会員拡大に対して真剣に取り組んで頂いた成果と考えます。また、1年通して感じたことは、すべての事業において地域の皆様、他団体の皆様、そしてメンバーの協力なしでは出来ないと改めて痛感致しました。最後になりますが、私を入会に誘って頂き成長する機会を作って頂いた天野直前理事長、拡大理事という役を頂き修練の場を与えて頂いた高橋理事長、そして賛同して頂きましたメンバーの皆様へ感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

事業報告

事業名	実施日時	項目	決算額
目覚めよ！拡大MAX！！	2月16日（火） 18時30分	目覚めよ！拡大MAX！！ （2月例会）	¥14,880
ひがしね城下町祭りへの参画	7月16日（土） 13時00分	ひがしね城下町祭りへの参画 （7月第2例会）	¥83,052
JCチャンス！！	11月25日（金） 18時30分	JCチャンス！！（11月委員会事業）	¥14,164

【40周年実行委員会】

40周年実行委員会実行委員長 阿部 洋介 副実行委員長 元木 豊
メンバー 全メンバー

議長所感

本年度は東根青年会議所創立40年という節目の年を迎えました。周年事業を開催するにあたり40年の歴史、伝統、そしてこれから飛躍するために大切な事は何かを考えて参りました。4月例会は決起集会と2部構成にし、第一部では創立30周年を経験された第30代理事長であります高橋弓嗣先輩の講演、第2部では各部会に分かれて職務分掌の確認と準備内容の把握を全メンバーで確認しました。5月から毎月一回部会長会議を経て全6回開催し当日までの準備を進めて参りました。当日は予定よりも多くのご来賓及び来訪JCよりご参加頂き、盛会に終えることが出来ました。大きなミスも無かったのもメンバーのご協力と感謝致します。周年当日を終え感じたのはやはり感謝です。40周年を迎えられたのも東根青年会議所OB会をはじめ、行政関係、県内各地会員会議所のお陰です。感謝しかありません。周年は歴史を感じると同時に感謝するという初心に戻ることが出来ます。私も初心に戻り残りのJCライフを楽しみたいと感じました。

副議長所感

東根青年会議所創立40周年副実行委員長の職務を担いながら、山形ブロック協議会に出向し、副議長を務めさせていただきました。ブロック協議会に出向しながら40周年副実行委員長がはたして務まるのかと年頭所は不安でいっぱいでしたが阿部実行委員長の助けがあり、1年間の職務を全うすることが出来ました。5年に一度の周年事業を担当する特別な委員会ですので、委員会として受け持つ事業のビジョンを記載すること、考えることは難しいところがありますが、次の周年を迎える際は、メンバー全員が新たな気持ちで事業に取り組めていけるよう意識が上げられる周年の準備、取組を行っていただければと、未来のメンバーへお願いしたいです。他の事業も一緒ですがメンバーを巻込む、メンバーから支えてもらうということが事業を成功に導く一番大切なことですので、これからのJC活動において私自身も含めLOM全体で巻込む力を育てていきたいと感じました。1年間ありがとうございました。

事業報告

事業名	実施日時	項目	決算額
40周年決起集会	4月19日(火) 18時30分	40周年決起集会 (4月例会)	¥199,234
創立40周年記念 式典並びに祝賀会	10月23日(日) 10時30分	創立40周年記念式典並び に祝賀会(10月例会)	¥2,586,415

【事務局】

専務理事 石山 高広

事務局長 荒井 俊太郎

会務理事 芳賀 景子

事務局補佐 星川 武

専務理事所感

今年度は理事長のサポート、LOMの健全な運営や渉外事業に対する窓口といった専務理事の業務の他に、40周年記念式典・祝賀会の総務部会の部会長としての職務を頂き、慌ただしく一年が過ぎてしまいました。自分に与えられた仕事をこなすのに精一杯になってしまい、メンバー一人ひとりへのサポートまでは手がまわらなかったことが反省点として挙げられます。しかしながら40周年の準備を行うにあたって各地会員会議所の周年に参加させて頂いたことや、記念誌作成にあたり先輩諸兄が残された功績を改めて振り返る機会を頂いたことは、これまでの自分を見つめ直すきっかけにもなり、僅かながら自分自身の成長を感じることができました。

最後に今年度、LOM運営にご協力頂き、支えて頂いた全ての方に感謝申し上げます。事務局に携わったものとして、今年度の反省点を来年度にしっかり反映させられるよう努めてまいります。

事務局長所感

本年は40周年を迎えました年において会計においても非常に大きい予算組となりました。公益支出排出計画の最終年度の担当として平成29年の提出書類に不備がなきよう処理を行いました。

また、事業もひとつだけではありましたがもたせていただき感じたことは事務局メンバーが非常に少ない昨今、事務局の負担がとて大きくなっているのではないのかということでした。理事会の設営、財務処理、対外対内の情報管理、連絡と日々活動しなければならぬ会の中核であることには間違いのないですが見直す点多々あるように感じ取れました。次年度も事務局を仰せつかる予定ですので本年の事務局からさらに飛躍できる事務局を目指し日々の事務作業をこなしていきたいと思えます。

最後に支えてくださった本年度の事務局及びLOMメンバーの皆様に感謝し、所感とさせていただきます。

事業報告

事業名	実施日時	項目	決算額
山形ブロック 会長公式訪問	2月23日(火) 19時00分	山形ブロック会長公式訪問	¥750
山形協働運動	6月19日(日) 9時30分	山形ブロック協働運動	¥10,328
定款の見直し と変更	9月15日(木)	定款の見直しと変更	¥800